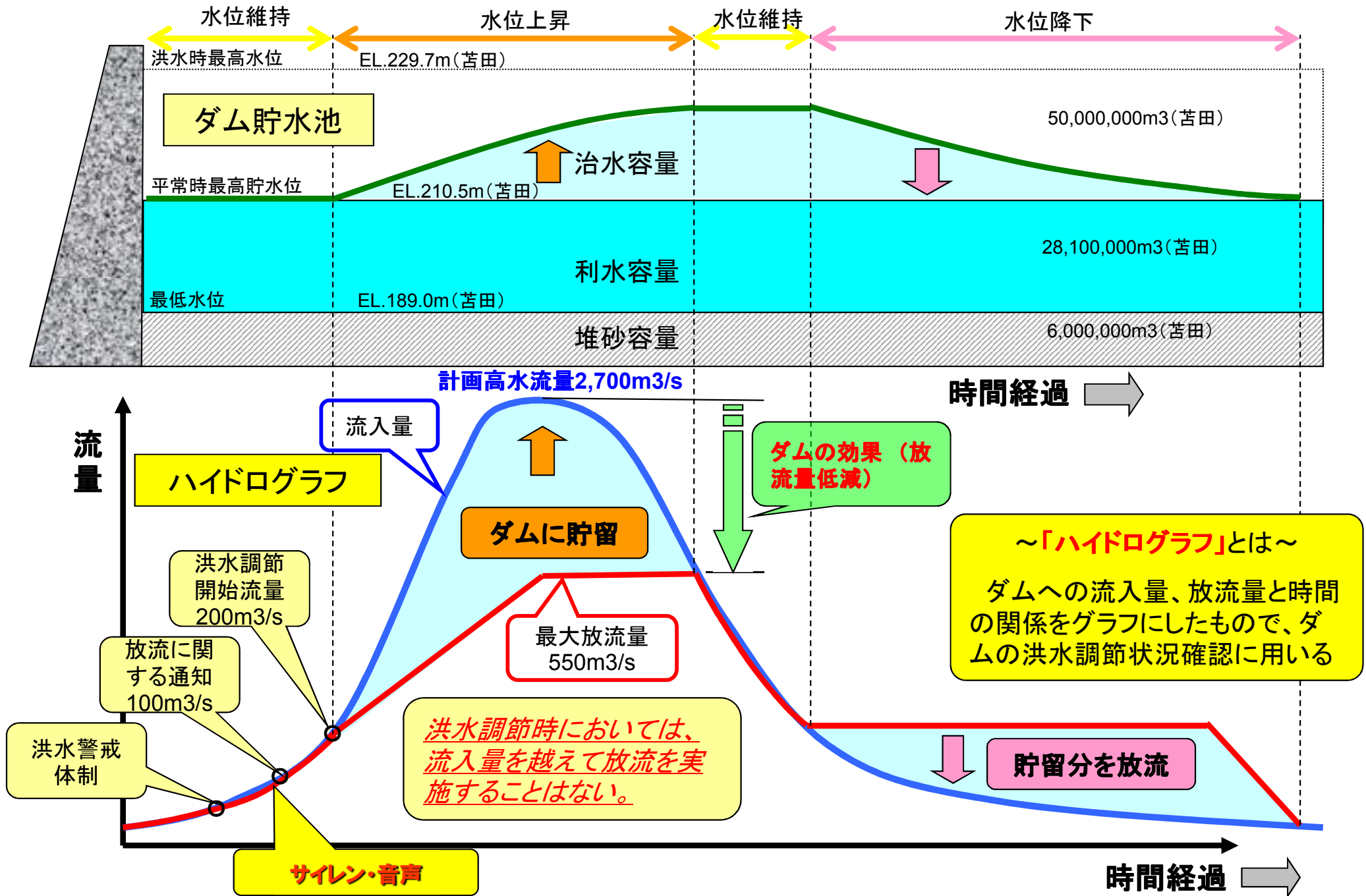


H29年度苦田ダム出水対応について



国土交通省 苦田ダム管理所

「多目的ダム」による洪水調節のしくみ



管理開始以降の主な洪水

◆常用洪水吐(コンジットゲート)から放流した洪水(18洪水)

- ・放流量が100m³/s以上
- ・関係機関への通知、一般への周知(警報所サイレン吹鳴)・下流の河川巡視を実施

発生年月日		最大流入量(m ³ /s)	最大放流量(m ³ /s)	最大貯水位(m)
平成18年度	7月19日	533	225	211.86
平成19年度	7月14日	161	156	210.54
平成23年度	5月11日	171	171	210.39
	5月30日(台風2号)	347	201	211.28
	7月7日	169	166	210.54
	9月3日(台風12号)	469	216	214.44
	9月21日(台風15号)	133	130	210.43
平成24年度	4月3日	140	126	210.37
	5月4日	133	120	210.69
平成25年度	7月15日	321	126	210.65
	9月4日	234	202	210.70
	3月30日	155	160	210.52
平成26年度	8月10日(台風11号)	144	128	210.18
平成27年度	12月11日	124	107	210.37
平成29年度	4月17日	171	172	210.41
	8月8日(台風5号)	370	223	210.95
	9月17日(台風18号)	334	143	212.12
	10月23日(台風21号)	383	224	213.03

※ 赤字は、流入量が200m³/s以上で、洪水調節を行った洪水

ダムの防災操作と効果

(平成29年8月8日)

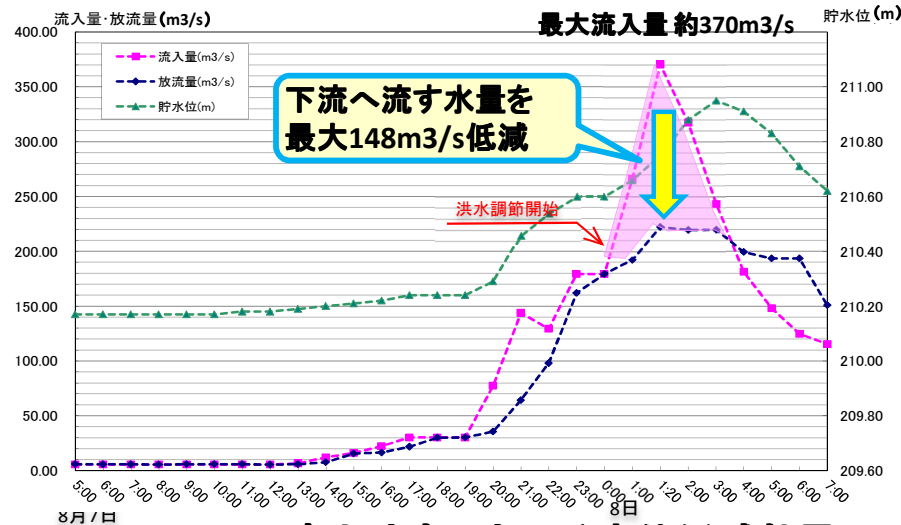
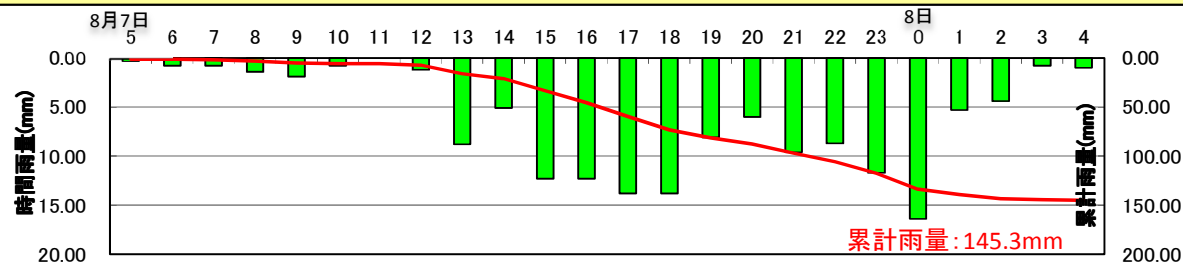
～吉井川津山地点の水位を約19cm低下～

○平成29年8月7日から8日にかけて、台風第5号の影響により強い降雨となり、苦田ダム上流域において、平成29年8月7日5時～8日4時の累加雨量（流域平均）が**145.3mm**となり、ダムへの最大流入量は**370.3m³/s**（平成17年の管理開始以降で**歴代第3位**）を記録。

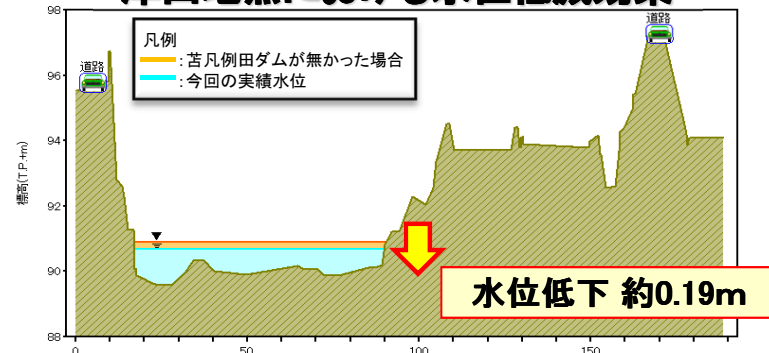
○今回の防災操作において、**870千m³の水を貯留し**、下流の河川へ流す水量を最大で**148m³/s低減**。

○ダム下流の津山地点（岡山県津山市昭和町）では**約19cm**の水位を低減させる効果があったものと推定。

苦田ダム位置図



津山地点における水位低減効果



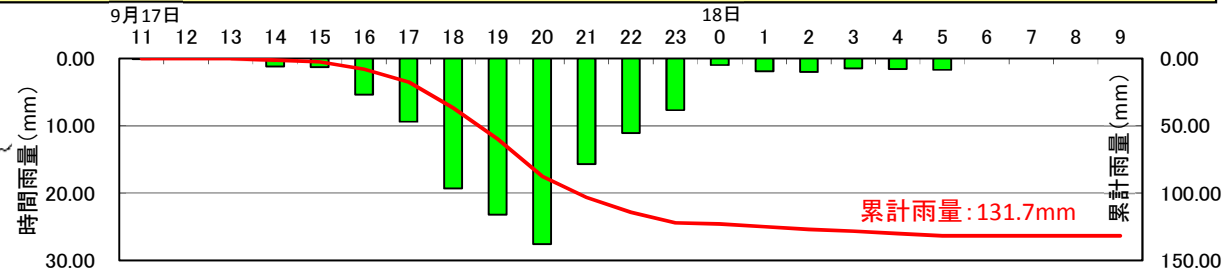
苦田ダムの放流状況

苦田ダム諸元

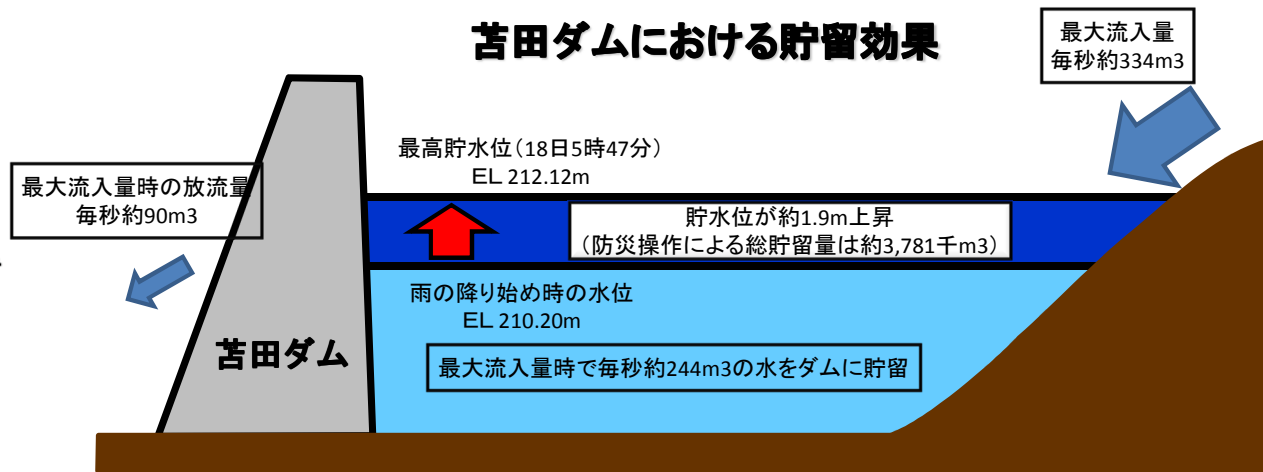
- ・形式: 重力式コンクリートダム
- ・高さ: 74m
- ・総貯水容量 : 84,100千m³
- ・洪水調節容量 : 50,000千m³

- 平成29年9月17日から18日にかけて、台風第18号の影響により強い降雨となり、苫田ダム上流域において、平成29年9月17日11時～18日5時の累加雨量（流域平均）が**132mm**となり、ダムへの最大流入量は**毎秒334m³**（平成17年の管理開始以降で歴代**第5位**）を記録。
- 今回の防災操作において、**約3,781千m³**の水を貯留し、下流の河川へ流す水量を最大で**毎秒約244m³**低減。
- ダム下流の津山地点（岡山県津山市昭和町今井橋付近）では**約55cm**の水位を低減させる効果があったものと推定。

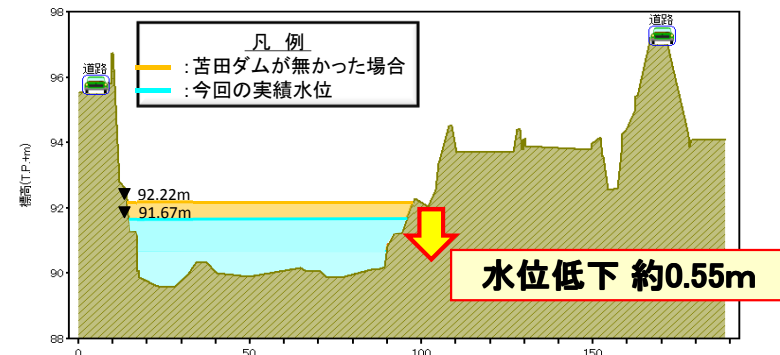
苫田ダム位置図



苫田ダムにおける貯留効果



津山地点(津山市昭和町今井橋付近)における水位低減効果



苫田ダム諸元

- ・形式: 重力式コンクリートダム
- ・高さ: 74m
- ・総貯水容量 : 84,100千m³
- ・洪水調節容量: 50,000千m³



苫田ダムの放流状況

※数値は速報値であり、今後変わることがあります。

○台風18号の影響による降雨により、津山市吹屋町の水位が避難判断水位を超過する出水となった。

吉井川の水位が高く、津山市街地で浸水被害軽減を目的とした要請を受け、苦田ダムからの放流量を規定(操作規則、細則)よりも減じる適用操作を実施した。

速報

■発表先:津山記者会

記者発表資料	平成29年 9月20日
配布日	

苦田ダムの洪水調節について

～平成29年9月17日の防災操作と効果～

苦田ダム流域では、9月17日11時頃から18日24時にかけて、台風18号の影響により強い雨が降り、苦田ダム上流域で降り始めからの流域平均累加雨量132mmを記録しました。

このため、苦田ダムではダムへの流入量が最大で毎秒約340m³に達し、このとき毎秒約244m³の水をダムに溜め込みました。

この結果、ダム下流の津山地点(津山市昭和町今井橋付近)では、約55cmの水位を低減させる効果があったと推測されます。

また、津山市街地の浸水被害軽減を目的とした要請を受け、通常の防災操作に加え、今後の予測降雨量、ダムの残りの貯水容量等を勘案しながらダムの貯水容量を可能な限り有効活用し、放流量を規定(操作規則・細則)よりも減じる操作(適応操作)も実施しました。

○台風18号による洪水の規模

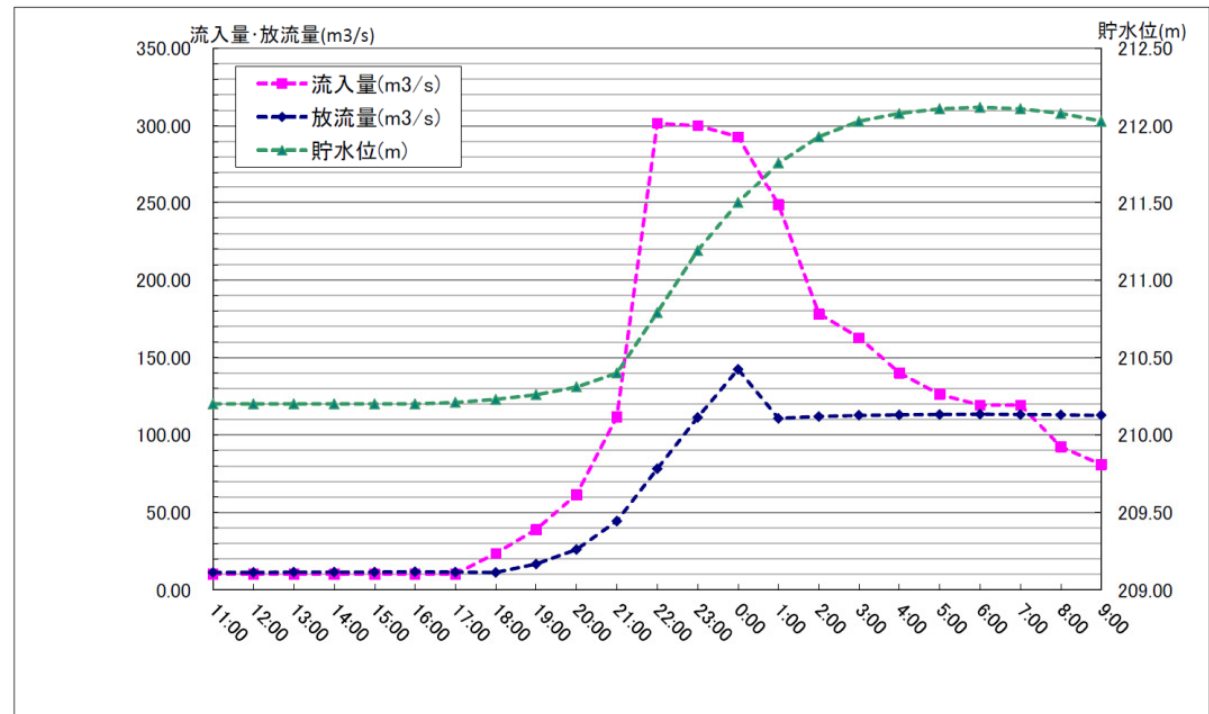
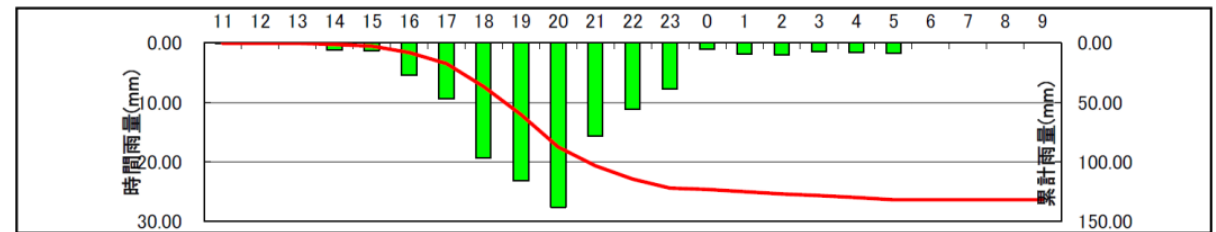
累加雨量	131.7mm	(流域平均)
最大流入量	毎秒334m ³	(過去5位)
最大放流量	毎秒143m ³	
津山地点の水位低減効果	約55cm	

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 苦田ダム管理所
TEL (0868) 52-2151
【総括】 所長 川本 洋次郎
【担当】 専門官 有満 命

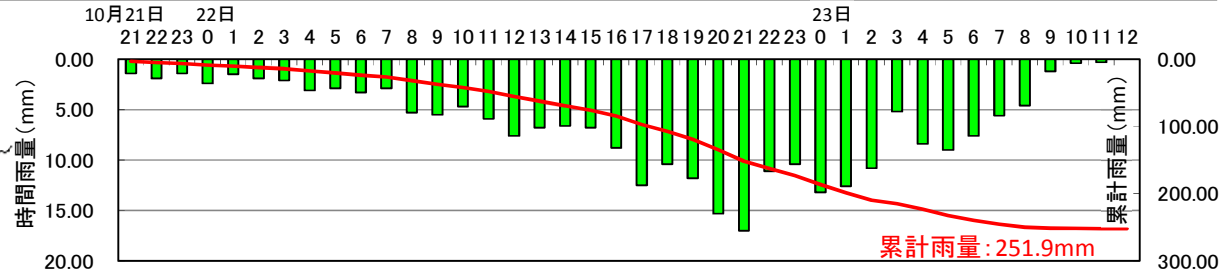
H29年9月17日 台風第18号 ハイドログラフ

(苦田ダム管理所)

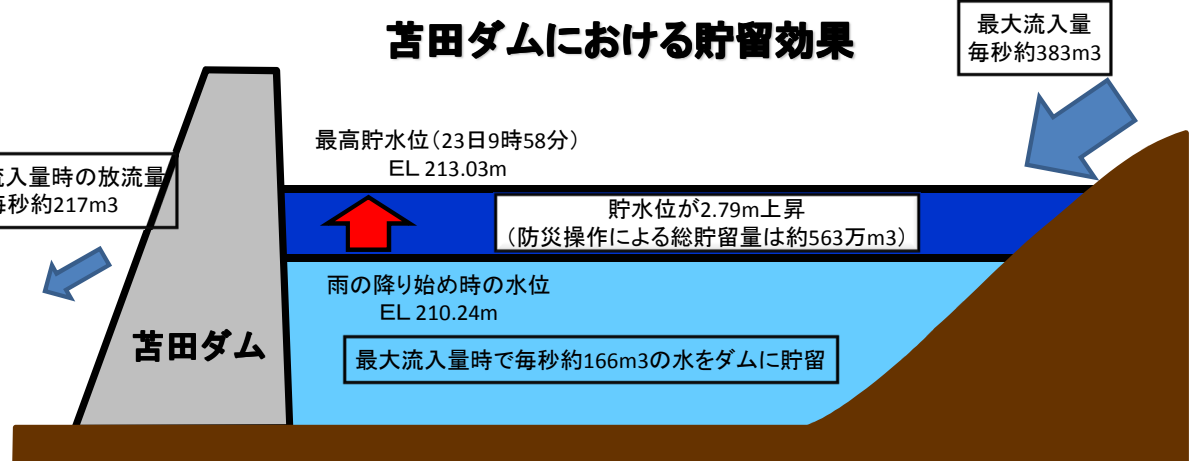


- 平成29年10月21日から23日にかけて、台風第21号と秋雨前線の影響により岡山県全域で降雨となり、苦田ダム上流域において、平成29年10月21日13時～23日11時の累加雨量（流域平均）が**251.9mm**となり、ダムへの最大流入量は**毎秒約383m³**（平成17年の管理開始以降で歴代第3位）を記録。
- 今回の防災操作において、**約563万m³**の水を貯留し、下流の河川へ流す水量を最大で**毎秒約166m³**低減。
- ダム下流の津山地点（岡山県津山市昭和町）では**約22cm**の水位を低減させる効果があったものと推定。

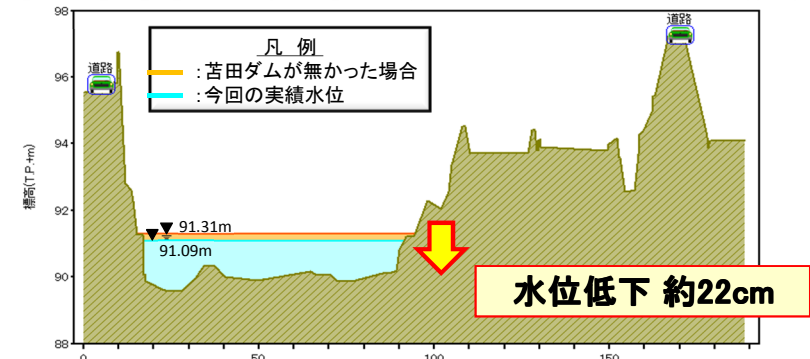
苦田ダム位置図



苦田ダムにおける貯留効果



津山地点(津山市昭和町今井橋付近)における水位低減効果



2017. 10. 23 10:24

苦田ダムの放流状況

苦田ダム諸元

- ・形式: 重力式コンクリートダム
- ・高さ: 74m
- ・総貯水容量 : 8,410万m³
- ・洪水調節容量: 5,000万m³

※数値は速報値であり、今後変わることがあります。

苦田ダム下流河川の確認

- ダムからの放流量は過去の最大放流量は225m³/sに近い223m³/sを放流
- 川幅が狭い下流河川(鏡野町内)の状況を確認したが、浸水被害等は確認出来なかった。

